



加藤 恵理奈

加藤 恵理奈

新曲発表

日本民謡

津軽三味線

コンサート

ゲスト



新田 弘志



新田 好枝



加藤 博

サポート



加藤 博花



加藤 博雅



飯嶋 自朗



松山 千紘

演奏曲

新曲:みちしるべ

十勝の民謡 / 津軽よされ節 / 新時代 / 津軽三味線合奏曲 他

新型コロナウイルス感染症に関する「お願い」

下記の事項にご協力ください



37度以上の発熱、せき、のどの痛み、鼻詰り、強いだるさなどはありませんか。また、少しでも体調がすぐれない場合は参加を控えてください。



手先のアルコール消毒をしましたか。(特に入場時にお願いたします。)アルコールにアレルギーのある方は、事前に手洗いの励行をお願いします。



休憩やお帰りの際は、席間の方と距離を保つようお願いいたします。大きな声での会話は控えてください。



入場前・退場前・出入口を介してマスクを付けてください。休憩時などご自身の体調に合わせ、マスクの着用をお願いします。



本公演は自由席となりますが、ソーシャルディスタンスを保つためご自身の座席を指定し、静かに座席をお楽しみください。

会場にはご不要なものが残る場合がありますが、安全・安心を最優先に考え対応を心がけてまいりますので、ご理解の程をお願いいたします。

2023 6/24 土

開場 14:00

開演 14:30

とかちプラザ TOKACHI PLAZA

RAINBOW HALL レインボーホール

入場料 一般 3,000円 (税込) 高校生以下 1,000円 (税込) <全席自由席> 当日券は、各500円増し ※未就学児は観客室をご案内いたします。

チケット取り扱い

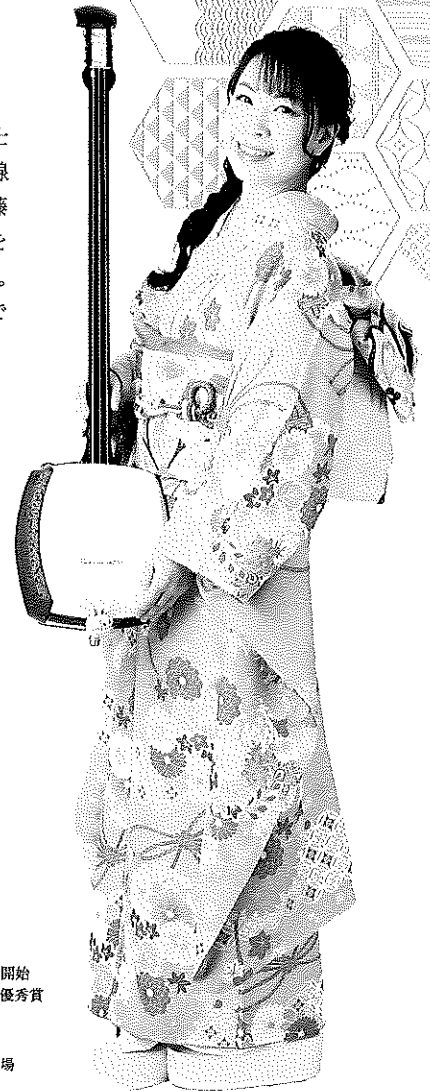
とかちプラザ 帯広市西4南13 0155-22-7890
帯広旭楽器商会 帯広市西7南17 0155-23-4184
音更町文化センター 音更町木野西通15丁目8 0155-31-5215

・TSUTAYA西帯店 帯広市西21南3 0155-36-1100
・TSUTAYA木野店 音更町木野大通西12 0155-31-8835
・幕別町百年記念ホール 中川郡幕別町字千住180 0155-56-8600

・図書館広東モール店 帯広市東4条南16丁目 0155-28-3728
・チケットらいぶ 帯広市西5条南11丁目48 0155-23-8111
・清水町文化センター 上川郡清水町南3条3丁目1番地 0156-62-5115

加藤 恵理奈 Erina Kato

北海道帯広市出身。3歳頃から民謡を、10歳から父より津軽三味線の手ほどきを受ける。一時は介護福祉士に従事したものの、民謡コンクールで頭角を現し、数々の賞を獲得する。現在は、父が築き上げた「津軽三味線日本民謡加藤流三絃会」の代表をつとめ、後進の育成にも力を注ぎ、全国各地の演奏活動を行う。「加藤恵理奈」の唄声は民謡という枠を越え、生まれ育った北海道十勝の風景を描写できる唄い手として注目を集める。その活動はラジオや新聞にも多数取り上げられ、コンサートのプロデュースも多数手がける。「心に響く唄」をテーマに掲げた活動は、地元十勝をはじめ、教育機関や、市町村での祭りなど、行く先々で評判が高い。



<主な受賞公演経歴>

平成12年	加藤流三絃会 加藤博会主より名取優名	平成30年	(有)Ezo'n music アーティスト所属
平成17年	十勝小唄全国大会民謡のど自慢大会 名人位獲得	同年	よさこいソーラン エクスクラメーション 三味線・歌担当
平成18年	からまいアカデミー講師就任	同年	Ezo'n 歌姫アルバム 発売
平成21年	財団法人日本民謡協会「三味線 教授 認定」	平成31年	日本民謡協会 北海道地区大会 総合優勝 全国大会 (内閣総理大臣杯)出場決定
平成22年	新民謡まつり競演「蝦夷ごよみ」総合グランプリ受賞	同年	Ezo'n music札幌和楽器フェスティバル出場
同年	十勝民謡決勝大会 総合グランプリ受賞	令和元年	よさこいソーランエクスクラメーション 三味線・歌担当
同年	道新杯全道民謡決勝大会「北海道民謡の部」優勝	同年	十勝地区決勝大会 全国民謡 総合優勝
同年	石狩川流れ節全国大会 名人位獲得	同年	1/fゆらぎシリーズ 加藤恵理奈コンサート 「和奏〜wakana〜」出演
同年	帯広市民劇場新人賞 受賞	同年	加藤流三絃会コンサート開催
平成23年	第30回おひろひ市民芸術祭 帯広市民劇場新人賞受賞記念公演 「響和〜あなたとの出会いに感謝して〜」華道家、舞道家との共演	令和2年	音楽鑑賞協会主催 加藤恵理奈コンサート 伝統和花〜心に響く歌を〜出演
平成25年	新民謡まつり競演「十勝流し唄」総合グランプリ受賞	同年	とちか観光大使に任命される YouTube erina katoチャンネル 開設
同年	加藤流三絃会 加藤博「光〜障がいと共に歩む〜」公演開催	令和3年	音楽×福祉×観光×グルメのラジオ番組 「えりな&ぬまっちの3時だよ!全員集合!」開始 日本民謡協会 内閣総理大臣杯全国大会 優秀賞
平成26年	第92回 虹コン Tre Linee Concert コンサート出演	令和4年	コンサートレビュー国際交流基金KL主催 「MIN'YO」コンサート マレーシア公演 出場
同年	どさんこ甚句・どさんこ舟唄全国大会 どさんこ舟唄優勝 名人位獲得		
同年	第4回 浜益道中唄・石狩追分全国大会 石狩追分優勝 名人位獲得		
同年	帯広音楽鑑賞協会主催「加藤恵理奈津軽三味線コンサート」開催		
平成27年	日本民謡フェスティバル全国大会「石狩追分」出場 於:NHKホール		
平成28年	どさんこ甚句・どさんこ舟唄全国大会 どさんこ甚句の部 名人位獲得		
同年	ファーストアルバム 糸響〜itoyura〜 11月発売		
同年	加藤博芸歴40周年 加藤流三絃会30周年記念コンサート 〜感謝〜十勝に響く〜開催		



新田 弘志 Hiroshi Nitta

1997年「津軽三味線全国東京大会」で総合優勝。1999年には津軽三味線全国金木大会において、弟子達と共に津軽合奏曲(北の響き)で優勝する。HTBのキャラクターONちゃんの曲「音ちゃん音頭」を作曲。2004年アジア3カ国絆ツアー(タイ、フィリピン、ラオス)を実現。2005年には国際交流基金、ペンシルバニア大学の要請により日本伝統芸能のワークショップを1カ月間する。現在も後進の育成に尽力しつつ、北海道での三味線普及に努める。



新田 好枝 Yoshie Nitta

3歳の時より民謡を始める。16歳の時、最年少でNHKのど自慢コンクールで優勝、P振地区代表となる。その後17歳より成田雲行氏に師事。芸の修行、地方公演で活動し20才でテイチクレコードより道南ナット節でデビュー。36歳で、パップレコードより「恋は女の命です」の他、各社共作で「麦畑」など4曲吹き込む。現在、司会&ボーカルで新田親子専属司会として活躍中。



加藤 博 Hiroshi Kato

25歳より、三味線の音色に魅せられこの道を志し、昭和60年に加藤流三絃会を発足。十勝 北海道を中心に活動を続けながら、津軽三味線・日本民謡の研究伝承と発展を目的に努めてきた。平成3年北海道民謡連盟三味線大師範に認定、平成8年帯広市民劇場賞受賞。その後48歳でくも膜下出血による疾病を患い、言語障害・右手麻痺となったが、この道への情熱は消えることなく、年数をかけた厳しいリハビリを経て芸の道を再出発した。平成25年障がいを乗り越え16年振りの公演となった「加藤流三絃会 加藤博「光」〜障がいと共に歩む〜」を開催。不自由をかかえながらの輝き放つ演奏に、観客から大歓声が沸き起こった。その後、多数テレビにも取り上げられ、視聴者より「味わいのある演奏や諦めない精神、生き様に感動した…」などの問い合わせが殺到した。心の共感を得る貴重な演奏者である。



松山 千紘 Chihiro Matsuyama

大阪府出身。3歳からピアノを始め、中学・高校と吹奏楽部でクラリネット・トロンボーン・指揮者を担当。大阪芸術大学芸術学部音楽学科音楽制作コース(作曲専攻)卒業。2014年結婚を機に北海道大樹町移住。現在4才児の母。様々な楽奏者や吹奏楽団へ作編曲提供やピアノ演奏などで活動。音楽教室「レインボーミュージッククラブ」主宰。音楽企画事業「とちかフリーズミュージック」代表。